

令和7年(2025年)2月1日(土曜日)

## JR三島駅南口東街区の再開発事業

### 地下水の状況確認 検討委工事現場を視察



掘削現場近くの井戸からの採水方法を説明する  
関係者=三島市一番町

JR三島駅南口東街区の  
再開発事業による地下水へ  
の影響を考える対策検討委  
員会は31日、掘削作業が進

む工事現場を視察した。着工後、事業関係者以外への公開は初めて。地下水のモニタリングや溶岩掘削の状況を確かめた。

現場内の2カ所に設置された井戸で、工事関係者が地下水の水質や水位の調査体制について説明した。標高40㍍の高さにある井戸から実際に採水し、13・6㍍の地点に地下水位があると示した。掘削がほぼ完了した24階建て高層棟の基礎の最下部は標高31・5㍍で、地下水への流れや水質に影響がないとした。工事期間中も地下水が染み出でてくる

む工事現場を視察した。着工後、事業関係者以外への公開は初めて。地下水のモニタリングや溶岩掘削の状況を確かめた。

現場内の2カ所に設置された井戸で、工事関係者が地下水の水質や水位の調査体制について説明した。標

は、工事の進捗(しんちょく)はないとの認識を示した。観察後に行われた会合では、工事の進捗(しんちょく)は、地下水のモニタリング状況などの報告を受けた。再開発事業は昨年1月に解体工事が始まり、27年度の完成を予定。定期借地事業区域を含めた約1・3㌶に6棟が建設予定で、医療施設や分譲マンションが入る高層棟を先行して建設している。